

計測事業



取締役
専務執行役員
計測事業グループプレジデント

濱田 宏一

“大きな時代の波が動き始めました。我々は5G/IoTを支えるリーディングカンパニーとして、さらなる成長戦略を打ち出しています。”

5G/IoTのニーズを確実にキャッチ

■2017年3月期の振り返り

当期はLTE方式と5G方式の端境期にあり、モバイル市場の落ち込みが激しく、第3四半期まで前年同四半期比、減収減

益が続いていました。しかし、第4四半期に入り、5G/IoTへの移行に向け、LTE-Advancedが重要な役割を担うことが再認識され、モバイル市場の落ち込みにブレーキがかかり、前年同四半期比増収となりました。結果として計測事業グループの売上高は593億33百万円(前年同期比12.4%減)、営業利益は21億30百万円(同54.7%減)でした。

■計測事業グループのVISION

アンリツは、5Gの商用化を支える企業として期待されています。我々は、「5G/IoTを支えるリーディングカンパニーになる」というビジョンのもと、高付加価値製品で20%の利益率達成を目指しています。

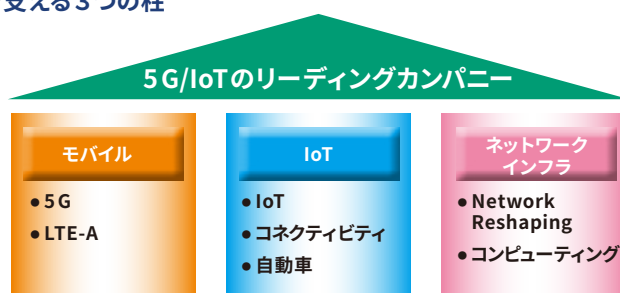
このVISION達成のため計測事業グループは、3つの成長ドライバーの獲得に向けて取り組んでいます。

まず1つ目は5G市場の獲得です。5GはLTEに変わるまったく新しい方式ではなく、LTEと5Gが共存し、10Gbpsを超えるデータ速度、100倍の収容力、そして超低遅延を実現する方式です。つまり当社が今まで培ってきたLTEでの強みが十分に引き継がれ、高いシェアを維持できる可能性があります。一方で、インフラ設備を全部入れ替えるというわけではないので、2020年頃の市場規模はLTEのピーク時の7割程度となると予想しています。従って、5Gの事業のみで、2020VISIONが達成できると甘くは見ていません。そこで2つ目、3つ目の取り組みが大切となります。

2つ目はネットワーク・インフラビジネスの拡大です。クラウドサービスの拡大によるネットワークトラフィックの増加で、ネットワークの再構築(Network Reshaping)が進んでいます。ネットワークの高速化や高品質化、データセンター市場の拡大、進化で、今後も市場の伸びが期待されます。この市場では当社はハンドヘルド測定器やビットエラーレート測定器、光スペクトラムアナライザなど特徴のある製品群を有しており、高いシェアを維持しています。市場の伸びを捉え、持続的成長を維持していきます。

そして3つ目がIoT、自動車の新市場開拓になります。スマートフォンに依存する体質から抜けだし、広く通信が使われる5Gの時代に向け、IoTデバイスに搭載されるWLAN測定ソリューションや自動車の自動運転のために使われる通信方式“V2X”などに対応したソリューションを投入し、新たな市場を切り拓き当社の新たなビジネスの柱を築いていきます。

VISIONを支える3つの柱



VISIONを支える3つの柱を成長させる

計測事業

5Gネットワークを支えるアンリツのソリューション

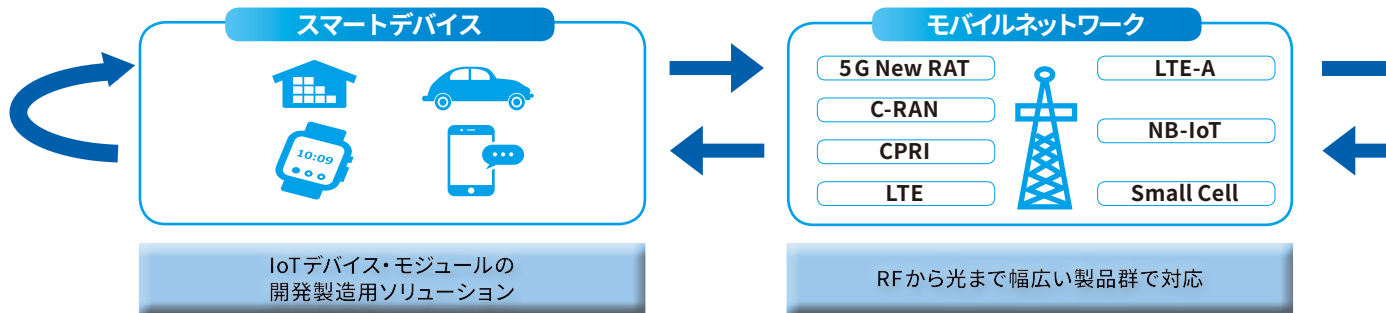
5Gの特徴 1/10×Latency

VISIONを支える
3つの柱

モバイルソリューション事業

IoTテストソリューション事業

ネットワークインフラ事業



■組織体制を刷新

5G/IoTの方向性を踏まえ、より実効力のある事業部構成に進化させるために、モバイル、IoT、ネットワークインフラの事業部体制に再編しました。5G、IoTおよびNetwork Reshapingという3つのドライバーをバランスよく成長させるとともに、既存のLTE-Advanced、スマートフォン製造ビジネスなどで確実に利益を上げていきます。

■利益体質を強化

新たなコストダウンのプロセスを作り、開発段階から部品などのコストダウンに計画的に取り組んでいきます。特に製品化のコストダウンに重点を置き、利益体質を強化します。

また、開発の効率化においては、今後レガシーとなっていくLTEのビジネスをローコストの開発拠点に移管することで、キャッシュカウ化し、ここでの利益を5Gの開発へと循環していきます。

2017年度は第4四半期から5GのR&D測定器の需要が立ち上がり、LTE-Advanced関連の投資が回復基調となると考えております。IoT、自動車関連も市場の成長が期待できます。当社は、先に述べました成長ドライバーを獲得し、2020VISIONの実現に向けて取り組んでいきます。

モバイルソリューション事業



モバイルソリューション事業部長
徳家 努

“さまざまな産業分野で5G/IoT関連の投資計画が急拡大する動きを見せています。我々はこの機を逃さず、大きな事業成長を目指します。”

■顧客ニーズに合わせたソリューションをタイムリーに提供

モバイルソリューション事業部は、通信用チップセット、通信モジュール、そしてスマートフォンに代表される通信端末を対象に、その開発サイクルにわたって活用されるテストソリューション群をグローバル市場に提供しています。具体的には、通信プロトコル(通信規約)や無線性能の評価に必

要な測定器、標準規格への適合性を確認するコンFORMANCEテストシステム、通信事業者の端末受け入れ試験用システム等があります。

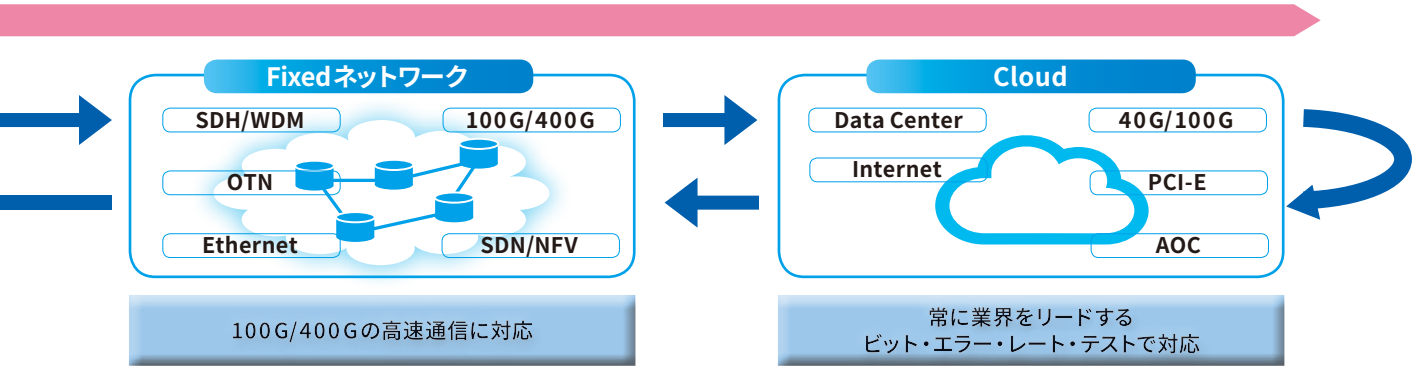
当社の強みは、最新のモバイル通信技術の検証課題解決に不可欠なテストソリューションを、業界のニーズに合わせてタイムリーに提供できることです。長年にわたり通信全般にわたる技術力を培い、グローバルな販売とサポート体制を構築してきました。

その結果、業界をリードする通信事業者、技術開発で先行するチップセットベンダ、大手スマートフォンベンダと、開発計画段階から協力関係を築いています。また、モバイル通信技術の規格適合性評価に関わる標準化活動にも参加しており、通信サービスの品質向上に貢献しています。

■5G/IoT社会の到来は事業拡大のチャンス

5Gは、さらなる高速化や大容量化を実現するだけでなく、さまざまなモノやサービスがネットワークに繋がるIoTの通信基盤となることが期待されています。それに伴い、広帯域信号の利用、高いリアルタイム性を実現するための低遅延性能など、技術的な要件も高度になっています

100×Peak Data Rate 100×Capacity



が、2018年には標準規格に基づく5Gの商用開発が開始される見込みです。

こうした中、当社はこれまで以上に顧客との連携を深め、最適なテストソリューションを共創する取り組みを強化していきます。5Gの普及期においては、生活のさまざまなシーンにおけるユースケースが増加し、また、多様な産業でIoT応用が進むことが予想されます。

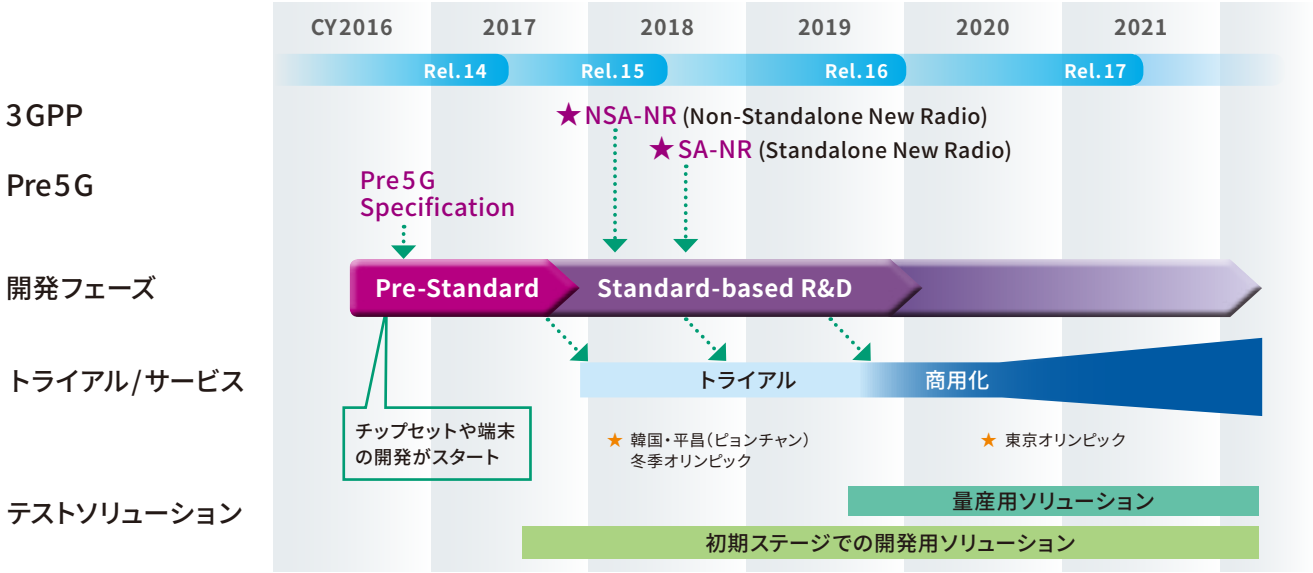
このことは、当社にとって事業領域拡大の好機であり、IoTに不可欠な通信技術の

強みを挺に、新たな顧客やパートナーとの協力関係を深めることで、応用分野の検証課題に応えるソリューションを拡充していきたいと考えています。

一方、モバイル通信市場では、勢力図がダイナミックに変化し、変化の波に乗り遅れることが、ビジネス機会の損失に直結します。4Gが世界中に普及したことで、利用される周波数帯が増加し、事業者が差別化を図るための技術の選択肢も多様化しています。

また、IoTに向けた通信方式も複数の技術が提案されています。さらに、5Gはさまざまな周波数帯の利用や柔軟なネットワーク展開を可能とするためのオプションが用意されています。当社は主流となる新技術を見極め、市場の変化に応じて柔軟にポートフォリオを最適化することで、このビジネスチャンスを実際にとらえていきます。

5Gロードマップ



計測事業

IoTテストソリューション事業



IoTテストソリューション事業部長

安城 真哉

“IoTビジネスは、既存顧客の深耕に加え、新しい企業との接点を生み出します。我々はより高付加価値なソリューションで「安全・安心で快適な社会」の実現に貢献します。”

■「安全・安心で快適な社会」を実現する

IoTテストソリューション事業部は、円滑で効率よくIoTサービスが運用されるために必要な試験ソリューションを提供しています。

具体的には、“モノ”をインターネットに接続するために、LTEやWLAN、Bluetoothなどを使用した無線通信機器の機能や性能を評価するソリューション、その量産試験用のソリューション、基地局信号のエリア評価のためのソリューションなどを、通信キャリアや通信機器メーカー、モジュールメーカーなどに提供しています。

あらゆるモノがネットワークに繋がることで、新たな価値を創造しながら継続的に発展していく社会、これがIoT社会です。IoT社会では、自動車や家電、産業機械などが無線通信で繋がり、新しいサービスが提供され、さまざまな新しい課題や市場ニーズが発生すると予想しています。当社は、これまで培った高い技術と

豊富な経験でこれらの課題に取り組み、IoTがもたらす「安全・安心で快適な社会」の実現に貢献していきます。

■自動車関連市場への取り組み

自動車が通信機能を有することは、IoTのユースケースの一つです。自動車とインターネットを繋ぐテレマティクスサービスは、既に普及期に入りさまざまなサービスが提供されています。欧州では、eCall（車両緊急通報システム）が、2018年4月より義務化されます。

当社は、自動車関連市場を新たな成長分野と定め、自動車メーカー、車載機メーカー向けに、当社が得意とする無線通信技術を活用したテレマティクス評価ソリューションや、eCall評価ソリューションを開発・提供し、お客様から高い評価を頂いています。

今後、自動車の安全性を高めて事故の低減を図るADAS（先進運転支援システム）の普及・発展に向けたレーダー機能の拡張や、車車間通信/路車間通信（V2X）の導入など、当社の強みを活かせる分野がさらに拡大していくと期待しています。

■2020VISIONの達成のために

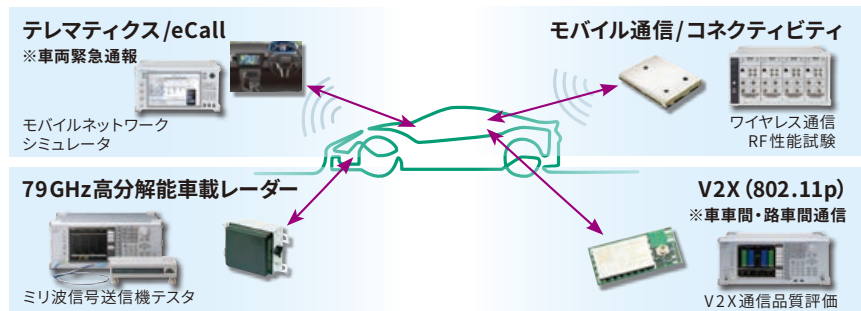
自動車市場では、自動車メーカーだけでなく、新興のメーカーやOTT（Over The Top）が積極的に市場をけん引し、自動運転車の実用化に取り組んでいます。自動運転車の実現には、無線通信による外部システムとの連携・調和がますます重要になります。

また、IoTや自動運転車が発達・普及し、人々のプライバシーや安全に大きく関わるようになると、通信機器の評価だけでは対応できない新たな課題が発生します。そのため、これまで以上に、サービスを実現するEND to END環境*でのシステム評価が重要になってきます。近年注目されているサイバーセキュリティ対策などは、その代表例といえます。これらの試験ニーズは、機器メーカーではなく、サービスを提供する、通信事業者やサービスプラットフォームベンダのものとして顕在化するはずで

当社は、顧客に密着して、新たな市場ニーズをいち早く取り込み、新たな顧客価値を提案することでビジネスを拡大し、社会の発展に貢献して、2020VISIONの達成に向けて取り組んでまいります。

*モノとモノをつなぐネットワーク環境を実験室内で実現すること

自動車市場における新技術の導入とアンリツの取り組み



ネットワークインフラ事業



サービスインフラストラクチャーソリューション
事業部長

杉田 俊一

“通信回線を利用する
データ量の膨大化に対応し、
ネットワーク・インフラの
再構築が求められています。
そこに我々の
ビジネスチャンスがあります。”

■ 5G/IoTネットワークを支えるソリューションの提供

サービスインフラストラクチャーソリューション事業部は、5G/IoT社会の実現に向け成長するネットワーク・インフラ市場向けに光・デジタル関連の測定ソリューションを提供しています。モバイルサービスやIoTの拡大、クラウドコンピューティングの普及に伴い、データ通信量は驚異的に増大しています。それに伴い、ネットワークの再構築 (Network Reshaping) と呼ばれる、基地局のsmallセル化、光インターフェースの利用、データセンターの増設/拡大、それらを結ぶデータ通信網の高速化、高品質化などさまざまなイノベーションがネットワークインフラ構築において推進されています。

当社は、Network Reshaping市場の獲得に注力し、5G/IoTネットワークを支えるソリューションを提供していきます。

■ Network Reshapingとデータセンター市場の変化を捉える

当社は、Network Reshapingが円滑に行われるために、モバイルインフラ機器やデータセンター内機器の設置、ネットワークの敷設を円滑に行うためのハンドヘルドタイプの測定ソリューションの提供、データセンター内で使用される機器の開発・製造用ソリューションを提供しています。モバイルの進化とそれを支えるネットワーク・インフラの進化は一對となっており、双方がバランスよく成長することによって、さまざまなサービスがさらに進展していきます。当社が持つ技術を通じて、ネットワーク・インフラの構築と品質保持のためのソリューションを提供し、安全・安心で快適な社会の実現に貢献していきます。

また、データセンター内の通信量は、クラウドコンピューティングサービスの広がりが増大しています。それに伴い、サーバとネットワーク機器間を通信する100Gbpsイーサネット、400Gbpsイーサネットの高速化が進む一方、PCI-Eなどの機器内シリアルBUSインターフェースも高速化が進んでいます。さらにコンピューティング用インターフェースとして、USB 3.1などの高速化も進んでおり、これらは既にハ

イエンド・コンシューマー製品への搭載が始まっています。当社は、得意とする超高速デジタルデータ転送技術と、測定のキーとなる高速デバイスを自社開発・製造できる強みを活かして、ハイスピードシリアルBUSインターフェーステスト市場へもソリューションを提供していきます。

Network Reshapingとデータセンター市場の変化を捉え、社会基盤であるネットワーク・インフラから個人のコンピュータまで、データの高速化と高品質化に貢献してまいります。

■ US事業部とのコラボレーション

Network Reshapingにおいて、測定ソリューションはモバイル技術と有線光技術の双方を組み合わせる必要があります。当社は1895年の創業以来、無線通信、有線通信の技術を蓄積しており、サービスインフラストラクチャーソリューション事業部は、光通信技術、有線通信技術、超高速デジタルデータ転送技術を得意としています。これに無線技術、特にマイクロ波技術に精通するUSの事業部と連携し、双方の技術融合を図りながら、5G/IoTネットワークを支える新たなソリューションの提供に向けて取り組んでまいります。

クラウドサービスを支える テストソリューション

